

# 東原遺跡通信 No.6

ひがしぼらいせきつうしん

2009年10月30日

B区の調査がすすんでいます。



竪穴住居跡と弥生土器

9月末からの長雨や10月上旬の台風の影響で、作業が中断することの多かったB区の調査ですが、その後は順調に調査がすすみ、遅れを取り戻しました。B区は長さ約200m、現在は、北側から150mまでの調査を終えようとしています。

B区は遺構が少なく、竪穴住居跡も北から70mを過ぎると発見されなくなっています。弥生時代の集落の境がここにあるのかもしれませんが。これまでの調査でA区18棟、B区5棟の計23棟の竪穴住居跡が見つかりました。

11/4(水)からはB区の150mより先の調査をすすめていきます。

## 曳馬中学校の生徒が職場体験に訪れました。

10月22、23日に曳馬中学校の生徒が発掘調査を体験しました。



発見した場所が分かるように土器に数字を書き込みます。



色が違う土を掘っています。

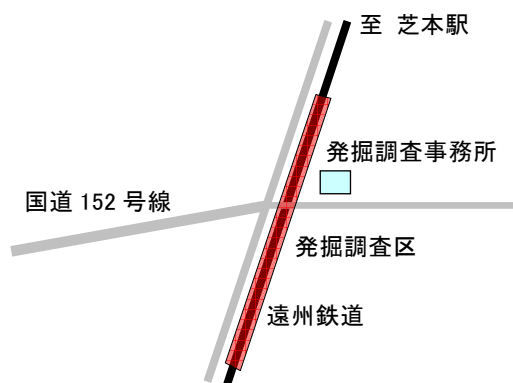


大きな溝が出てきました。

## 遺跡の見学について

遺跡の発掘作業は平日、午前8時30分～午後4時30分に実施しています(雨天時は作業を休止します)。作業時間内でしたら、調査現場は見学いただけます。

なお、現地は危険な箇所がありますので、作業時間以外の調査地内への立ち入りはご遠慮願います。



編集発行  
現地連絡先

浜松市埋蔵文化財調査事務所  
東原遺跡調査事務所

TEL485-3465  
TEL586-1233